



平成 24 年 4 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社ナナオ
代表者名 代表取締役社長 実盛 祥隆
(コード:6737、東証第一部)
問合せ先 執行役員 経理部長 兼 IR 室長 出南 一彦
(TEL . 076 - 275 - 4121)

業績予想の修正に関するお知らせ

本日開催の取締役会において、平成 24 年 1 月 30 日に公表しました平成 24 年 3 月期通期(平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 24 年 3 月 31 日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 24 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 60,000	百万円 3,000	百万円 2,800	百万円 1,200	円 銭 54.15
今 回 修 正 予 想 (B)	60,000	4,500	4,600	1,700	76.94
増 減 額 (B - A)	-	1,500	1,800	500	
増 減 率 (%)	-	50.0	64.3	41.7	
(参考) 前期実績(平成 23 年 3 月期)	65,204	5,150	5,258	3,547	158.93

2. 修正の理由

コンピュータ用モニターは、欧米での価格競争の激化と欧州の金融システムに対する懸念による需要の停滞が続
き、売上高は低調となりましたが、アミューズメント用モニターは新機種販売が予想を上回って推移し、全体として売
上高は予想と同水準となる見通しです。

営業利益につきましては、アミューズメント用モニターの新機種販売が予想を上回ったこと、及び製造原価の低減
を進めたことにより、予想を上回る見通しです。

経常利益につきましては、上記の要因に加え、1月以降に対外貨での円安が進んだため、為替評価益が発生い
たしました。

当期純利益につきましては、保有有価証券の一部の時価が下落し、投資有価証券評価損を計上する必要が生じ
ましたが、経常利益の増加の効果がこれを上回る見通しです。

以上の状況により、営業利益、経常利益、当期純利益を上方修正いたします。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要
因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上